

長久手市行政評価票

事業番号	18	事業の名称	住民プロジェクト推進事業		担当部署	部	課					
						くらし文化部	たつせがある課					
基本方針	(5)みんなの力を結集する自治と協働のまち	分野別項目	(1)住民と行政が協働するまちづくりを進める	施策の進め方	(1)「新しい公共」の担い手としての意識の醸成	フラッグ	F1「つながり」～一人ひとりに役割と居場所があるまち～					
						フラッグ項目	(24)協働コーディネーター・まちづくりリーダーの育成					
事業の概要	地域の課題を地域で考え地域で取り組む「新しいまちづくりの仕組み」をつくるために、市民や市職員を対象としたワークショップを開催し、市民力及び職員力の向上を図ることを目的とする。 市民ワークショップ(市職員18名+市民約35名)8回程度開催・先進地合宿研修・プロジェクトの企画・運営				他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	広島県福山市:中心市街地賑わい創出活動支援事業(福山市若手職員F-Netによるワークショップ運営) 新潟県燕市:つばめ若者会議(燕市の次世代リーダー育成、若手市民の主体的まちづくり活動の推進)						
事業期間	事業開始年度	平成25年度	終了(予定)年度	平成26年度	総事業費	総事業費(単位:千円)	H25予算	H25決算	H26予算	H26決算	H27予算	
事業の対象(だれ、何に対して)	市民及び市職員					うち	一般財源	4,898	4,349	5,229	4,890	4,729
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	市民ワークショップを通して、市民や市職員の地域づくりの当事者としての意識を高め、地域のことを地域で考え、地域で取り組む「新しいまちづくりの仕組み」ができてくる。					国費・県費	0	0	0	0	0	0
						地方債	0	0	0	0	0	0
						その他	0	0	0	0	0	0
					受益者負担額	0	0	0	0	0		

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的				事務事業の実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価						
		手段(いつ、どのような手段を使って)					成果指標	H25実績	成果指標の目標値設定の根拠	H25予算	H25決算	H26決算の主な内訳(単位:千円)	評価	評価の説明					
		4月~	7月~	10月~	1月~			H26実績		H26予算	H26決算								
① 市民ワークショップの運営	市民及び市職員が	4月~	7月~	10月~	1月~	市民協働プロジェクトを自主的・主体的に企画・運営できるようにする。	市民ワークショップ8回	ワークショップの参加者が、参加してよかったと回答した割合	-	75%	70%	4,898	4,349	5,229	4,890	4,729	A	市民と市職員のチームがワークショップでの話し合いや先進地視察を行い、その成果発表の場を自分たちで企画・運営したことで、新しい市民協働の仕組みが進んだ。今後は、自分たちが考えたプロジェクトを自分たちで実践していけるように、チームの運営体制づくりや、メンバーのスキルアップを図る。	
②																			
③																			
④																			

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H27以降に実施する内容)	事務事業	事業概要